

差第百七十號

明治三十一年四月達第五十九號海軍軍醫官服務規則第十八條左ノ通改正ス

明治三十二年十月三日

海軍大臣 山本權兵衛

第十八條 軍醫長ハ患者ヲ海軍病院ニ送り或ハ海軍部外ノ病院等ニ依托スルトキハ其傷
疾疾病ヲ左ノ四種ニ區別シ該種別ヲ所屬長ニ報告シ且ツ之ヲ疾病要略ニ記入スヘシ
陸上勤務外宿中及公務出張中傷疾疾病ノ爲メ一週日以上缺勤スルモノアルトキ亦全シ

第一種症 公務ニ原因スル傷疾疾病

第二種症 第一種第三種及第四種ニ屬セサル傷疾疾病

第三種症 自己ノ不衛生ニ原因スル傷疾疾病

一 花柳病

淋疾及之ニ續發スル副睾炎

下疳

百六十三

海軍

横 痃

梅 毒 第三期症ヲ除ク

二 暴飲暴食等著明ナル不衛生ニ原因スル證據判然タル傷疾疾病

三 特ニ上官ヨリ訓諭セラレタル衛生法ニ違背シタル爲ニ罹リタル疾病

第四種症 故意ニ身体ヲ毀傷シタル傷疾及作爲シタル疾病

正 誤

本年達第百六十九號中第十三條制法(十分ノ八)ハ(十分ノ二、十分ノ四)、同別表中「一等掌機工証狀

ハ「二等掌機工証狀」二等掌機工証狀」ハ「二等機關工証狀」ノ誤

海軍省副官

0579

達第百七十一號

艦艇及水雷敷設隊現狀報告規則中左ノ通改正ス

明治三十二年十月六日

海軍大臣 山本權兵衛

第二條 軍艦ノ現狀報告ハ其ノ艦長、第三豫備艦ニ在テハ軍港部長若ハ直屬ノ部團核所

長之ヲ調製シ水雷艇ノ現狀報告ハ水雷艇隊司令 水雷艇隊司令ノ附近ニ在テハ 水雷敷設隊ノ現

狀報告ハ水雷敷設隊司令之ヲ調製シ各一通ツ、海軍大臣海軍軍令部長及所管長官ニ進達スヘシ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

臨時報告ニハ必要ノ事項ノミヲ記入スルモノトス

第四條第二號中「機關ノ開放」ヲ「兵器機關ノ分解開放」ニ改ム

第一表及第三表人員ノ欄中卒ノ部ヲ左ノ如ク改ム

百六十四

海軍

卒					等	兵
計	四	三	二	一	級	種
/						水兵
/						信號兵
/						木工
/						機關兵
/						鍛冶
/						看護
/						主廚
/	/	/	/	/		計

第一表第一頁裏欄外記事第二項以下テ左ノ如ク改ム

准士官以上ノ職務心得ヲ命セラレタル者ハ固有ノ官等ノ部ニ記セス其ノ心得タル職相當ノ官等ノ部ニ缺員ノ數ヲ記入シ備考ノ欄ニ例ヘハ上等兵曹缺員一ハ職務心得ノ一等兵曹ヲ以テ補缺スト云フ類ノコトヲ記スヘシ

定員外乗組ノ欄ニハ官(卒ハ職)名及現在員數ヲ黒字ニテ記入スヘシ旗艦増加定員ハ單

0580

ニ其ノ合計數ヲ記入シ其ノ缺員アル場合ハ赤字ニテ但何人缺ト記シ又僱人ハ單ニ其ノ合計數ヲ記入スヘシ
備考ノ欄ニハ少佐缺員一ハ副長、大尉缺員一ハ分隊長ニシテ砲術長之ヲ兼務スト云フ類ノコトヲ記スヘシ

達第七十二號

雇員僱人規則第三條左表中賄夫ノ欄「監獄」ノ下ニ「軍醫學校、主計官練習所」ヲ追加ス

明治三十二年十月六日

海軍大臣 山本權兵衛

達第七十三號

艦團部隊金銭出納規程中左ノ通改正ス

明治三十二年十月六日

海軍大臣 山本權兵衛

百六十五

海軍

第十四條 金銭ノ任拂ハ總テ艦團部隊内ニ於テ之ヲ執行スヘシ但シ行軍演習其ノ他臨時必要ニ際シ艦團部隊外ニ於テ現金ノ任拂ヲ要スルモノアルトキハ所轄長ハ士官以上ニ分任出納官吏ヲ命シ主計長保管金ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相當ノ保護ヲ爲スヘシ

達第七十四號

軍艦職員勤務令第一章第二十四條ヲ削除ス

明治三十二年十月六日

海軍大臣 山本權兵衛

0581

明治三十二年十月十日
達第七十五號
廢止

達第七十五號

艦船損害事實查問規則左ノ通相定ム

明治三十二年十月十日

海軍大臣 山本權兵衛

艦船損害事實查問規則

- 第一條 司令長官ハ麾下艦船ニ於テ坐礁、衝突、火災若ハ其ノ他ノ理由ニ依リ人員、船體、機關、兵器若ハ其ノ他ノ物件ニ重大ナル損害ヲ生シ又ハ役務上重大ナル障害ヲ惹起シタルトキハ麾下ノ將校、同相當官若干名ヲ以テ查問委員ヲ編制シ其ノ始末ヲ調査セシム可シ但シ委員中一名ハ其ノ取調ヲ受クヘキ者ヨリ上席ノ者ヲ以テスヘシ
- 第二條 司令長官ハ查問ノ爲必要ナルトキハ部下ノ職員ニ其ノ書記ヲ命スルコトヲ得
- 第三條 查問委員ハ損害ノ事實及原因ヲ調査シ意見ヲ附シテ司令長官ニ報告ス可シ
- 第四條 司令長官ハ查問委員ヨリ前條ノ報告アリタルトキハ其ノ要領ニ之カ處分ニ關スル意見ヲ附シ速ニ海軍大臣ニ届出可シ

百六十六 海軍

第五條 查問委員ハ當該事件關係者若ハ其ノ事實ヲ知リタリト認メタル者ニ就キ尋問スルコトヲ得

第六條 查問委員ハ尋問ノ爲呼出スコトヲ要スル者アルトキハ直ニ本人ヲ呼出スコトヲ得但シ查問委員ヨリ上席者ナルトキ遠隔ノ地ニアルトキ若ハ所轄ヲ異ニスルトキハ之ヲ司令長官ニ具申スヘシ

第七條 查問委員ハ當該事件ニ關係アル場所若ハ物件ヲ檢視スルコトヲ得但シ其ノ遠隔ノ地ニアルトキ若ハ所轄ヲ異ニスルトキハ之ヲ司令長官ニ具申ス可シ

第八條 當該事件ヲ判決ニ付スルトキハ其ノ查問委員タリシ者ヲ判士長若ハ判士ニ任命スヘカラス

0582

達第百七十六號

航泊日誌取扱及記載心得中左ノ通改正ス

明治三十二年十月十四日

海軍大臣 山本權兵衛

第三條第四條第九條及第十五條中「管直士官」ヲ「管直將校」ニ改ム

第六條中「三通」ヲ「二通」ニ改メ「海軍軍令部長」ヲ削除ス

第二十八條中艦内ニ關スル件第五號ノ「平常」ヲ「人員」ニ改メ同第十三號ノ但書ヲ削除シ

同第二十號ノ「司令長官」ノ次ニ「司令官」ヲ加ヘ同第二十一號ヲ左ノ如ク改ム

二十一、檢閱點檢

達第百七十七號

自今准士官以上ノ武官ニシテ引入療養届又ハ轉地療養願等ニ添付スル醫證ハ海軍軍醫官ノ診斷シタル者タルヘシ但シ海軍軍醫官ノ醫證ヲ得ルニト能ハサル場合ニハ其理由ヲ附

明治三十二年達
百七十七號
本令ニ依リ
廢止

百六十七

海軍

記シ地方醫師ノ醫證ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

病氣全治或ハ輕快シテ出勤スル者アル場合ニ於テ所屬長必要ト認ムルトキハ軍醫官ヲシテ診斷セシメ其診斷證書ヲ徵シ海軍大臣ニ届出ヘシ

明治三十二年十月十四日

海軍大臣 山本權兵衛

達第七十八號

明治三十一年達第三十五號軍艦及水雷艇類別等級表中別紙ノ追加ス

明治三十二年十月十八日

海軍大臣 山本權兵衛

百六十八

海軍

0584

水			雷			艇		
類	驅逐艇	一	二	三	等	等	等	等
別	艇	等	等	等	等	等	等	等
陽炎	陽炎	千鳥	第二十九號	第三十四號	第三十九號	第四十四號	第四十九號	第五十四號
薄雲	薄雲		第三十號	第三十五號	第四十號	第四十五號	第五十號	第五十五號
龍	龍		第三十一號	第三十六號	第四十一號	第四十六號	第五十一號	第五十六號
寬	寬		第三十二號	第三十七號	第四十二號	第四十七號	第五十二號	第五十七號
			第三十三號	第三十八號	第四十三號	第四十八號	第五十三號	第五十八號
			第三十四號	第三十九號	第四十四號	第四十九號	第五十四號	第五十九號

軍			艦		
類	戰艦	巡洋艦	一等	二等	三等
別	艦	艦	等	等	等
艦	初瀬	出雲	一等	二等	三等
名	三笠	磐手			

0585

達第百七十九號

糧食經理規程中左ノ通改正ス

明治三十二年十月二十日

海軍大臣 山本權兵衛

第八條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ第二表ニ依リ換給スルコトヲ得

一 請負人ヲ置カサル地方ニ於テ第一表ノ糧食品ノ價格毎年定ムル所ノ代價ニ超過ス
ルトキ

二 第一表ノ糧食品ヲ得ル能ハサルトキ、火氣ヲ禁シタルトキ、風浪ノ爲メ若ハ演習行
軍ノ際通常ノ調理ヲ爲ス能ハサルトキ

三 第十九條第五項ニ依リ供給ヲ受ケタルトキ若ハ貯藏ニ堪ニスト認ムル貯糧品ニシ
テ給與ノ必要アルトキ

第十九條ニ左ノ一項ヲ追加ス

兵備品會計官吏ハ自己ノ保管ニ屬スル貯糧品ニシテ貯藏ニ堪ニスト認ムルモノアルト

百六十九

海軍

キハ生糧品ニ換ヘ供給スルコトヲ得

第二十二條第二項ヲ削除ス

0586

達第百八十號

自今發光信號燈用送風機并ニ氣管繼ヲ廢止ス

明治三十二年十月二十五日

海軍大臣 山本權兵衛

百七十

海軍

0587